

消化器内視鏡診療に関する既存の医療情報を用いた観察研究

2000年1月1日から2025年12月31日までに日本医科大学付属病院で消化器内視鏡をお受けになった(お受けになる)患者さん

研究協力をお願い

当科では「消化器内視鏡診療の安全性および有効性を明らかにするためのレジストリ研究」という研究を行います。この研究は、2000年1月1日より2025年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科にて日本医科大学付属病院で消化器内視鏡をお受けになった(お受けになる)患者さんに関して、内視鏡の診断や治療に関するデータ分析を行う研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：消化器内視鏡診療の安全性および有効性を明らかにするためのレジストリ研究

研究期間：研究実施許可日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 後藤修

(2) 研究の意義、目的について

高齢化社会の到来や医療機器の高性能化、医療技術の向上に伴い、我が国における消化器内視鏡診療は、その低侵襲性から極めてニーズの高い医療行為として重要な役割を担うようになってきました。当院においても、内視鏡センターを中心に年間約10,000件におよぶ消化器内視鏡診断・治療を施行しており、近年ますますその需要が高まっています。

我々はこの貴重な臨床データを分析し、学会発表あるいは論文という手段で情報発信することで、よりよい医療が実現されていくと考えております。具体的には当院における消化器内視鏡診療に関するデータを様々な視点から集計・解析し、内視鏡診断の正確さや治療成績などを臨床研究という形で検討します。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2000年1月1日より2025年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科にて消化器内視鏡検査・治療を受けられた、あるいは受けられる患者さんについて、以下の情報を収集、使用します。

年齢、性別、身長、体重、併存疾患、既往歴、内服歴、嗜好歴、内視鏡検査、画像検査、血液検査、病理結果など、カルテに記載された情報(個人情報を除く)

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 講師 後藤修

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：25718

メールアドレス：o-goto@nms.ac.jp